

告示研修を受講して

公益社団法人 日本臨床工学技士会 常任理事
公益財団法人 日産厚生会玉川病院 臨床工学科
井上博満

私は告示研修における実習指導者候補に登録したことから、11月3日、4日の第2回実習研修を受講しました。私達、臨床工学技士として新たな第一歩の始まりとなる大切な研修ですが、実習研修受講までに大きな壁が2つありました。まず、申し込み時に必要となる臨床工学技士免許証です。私を含め、勤務する施設スタッフも慌てて探す時間を要してしまいましたが、何とか無事登録することができました。もう1つは基礎研修であるeラーニングによる7分野60講義視聴後の「確認テスト」です。特に、内視鏡外科手術の分野ではなかなか合格に至らず、再試を繰り返しましたが、休憩時間や帰宅後、そして休みの日の空いた時間にせっせと視聴し、基礎研修を修了しました。そして、ようやく実習研修です。場所は羽田空港の隣という

こともあり、多くの飛行機が駐機しているのを横目に、会場に入りました。1日目は清潔操作と視野確保です。特に視野確保の実習は約5時間と長丁場でしたが、講師の熱いご指導もあり、あっという間に終了となりました。2日目は静脈確保の穿刺等、実際に血管モデルを使用した実習が中心でした。穿刺手順に基づきながら実施してみると、改めて穿刺手技の深さを知る機会となりました。今回の告示研修はまさしく「百聞は一見に如かず」です。できるだけ早く受講することをお勧めします。

